

議会だより

# おかがき

令和4年3月定例会

No.134

令和4年4月25日発行



2～6ページ 令和4年度予算等 住民目線でチェック

10～11ページ 町政を問う

12ページ ちいきのちから ひとり親家庭の学習塾

# 4500万円

昨年比1億4400万円増(過去最高額)



## 農林水産業費 2億9024万円



**Q** まちのブランド戦略やPR強化をどのようにするのか。

**A** 自然や住みやすさが町の強みである。それを町内外へ発信するために、「おかがきPR課」を立ち上げる。

**Q** 「地域コミュニティの課題解決に向けて、全自治区を職員が回り課題を確認する」という取組のスケジュールとその意見の活用等についてどう考えているか。

**A** 55自治区あるので、2か月以上はかかる認識。広報紙の自治区未加入者への配布や防犯灯の利用等、課題が多いことは承知している。対話の中で各自治区の状況を把握し、色々な策を考えていきたい。

**Q** 波津漁港は今後どのように展開するのか。また、漁港内の用途変更等行うのか。

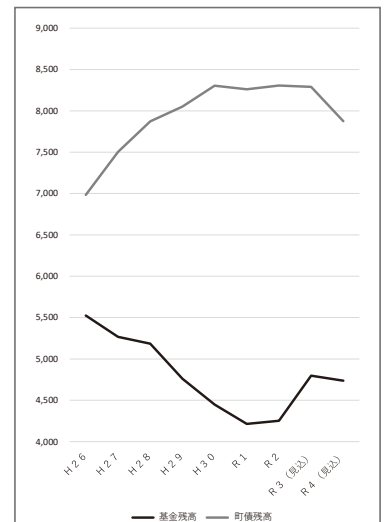
**A** 漁業と地域観光の連携で持続可能な波津地域をつくる計画を進めているため、用途変更を行う予定。内容は漁港用地の有効活用を図ることが目的で、駐車場整備等の平面図をデジタル化し、用途変更手続きの効率化を図るもの。

**Q** 農業次世代人材投資資金825万円計上しているが、新規就農者への支援の状況はどうなっているか。

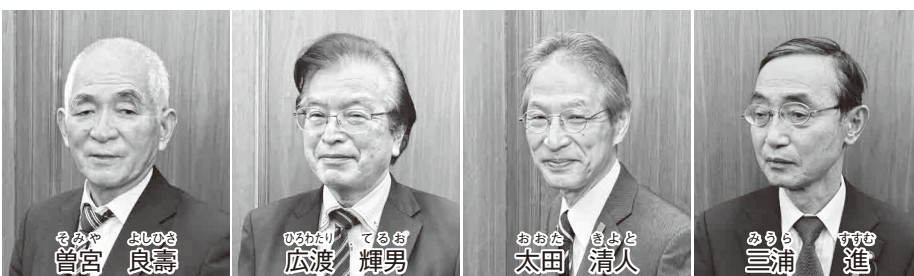
**A** 夫婦型では225万円、単身型では150万円の支援を5年間行っている。岡垣町はいちこの就農がメインで、毎年一人から一組を支援しており、離農者のビニールハウス活用で就農者の初期投資が抑えられる利点がある。

### ひとくち解説

令和4年度の一般会計は、新型コロナウイルス感染症の影響で不透明だった世の中の動きがある程度見えてきて、3年度堅めに見積もった税収の落ち込みなどをほぼ元に戻すとともに、交付金の増額で町債(借金)を減らし、財務体質を改善するところに特徴があります。しかし前年度の当初予算と比較すると、コロナ関連の対策等もあり、総額で11億4千4百万円の増加となっています。支出では、ますます膨らむ民生費が懸念されます。



ワニの口の拡大(基金減少・町債増加)は止まった!



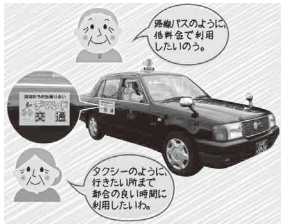




# 一般会計予算

# 1.13億

## 公共交通体系整備事業費 1億1211万円



**Q** オンデマンド交通システムとはどんなものでいつから始まるのか。

**A** 現在運行している乗合タクシーの利便性を高めるために、電話予約に加えスマホ・

パソコン等電子機器から予約できるようにするもの。乗合タクシーの運行拡大に合わせて10月から運用開始予定。

## 町長の施政方針 ～ポイント～

新型コロナウイルス感染症など直面する課題に対応しつつ、日本社会のあり方や国民のライフスタイルの変化を的確に把握しながら、自然の豊かさ、暮らしやすさといった岡垣町の魅力をさらに高め、その魅力を多くの人に戦略的に届けることで、「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」の実現に向け全力で取り組みます。

## ふるさと納税 おかがき応援寄附金 4億円



**Q** 応援寄附金予算4億円となっているが、ニーズの変化をとらえ将来的にどこまで伸ばすか。また、岡垣町をPRできる

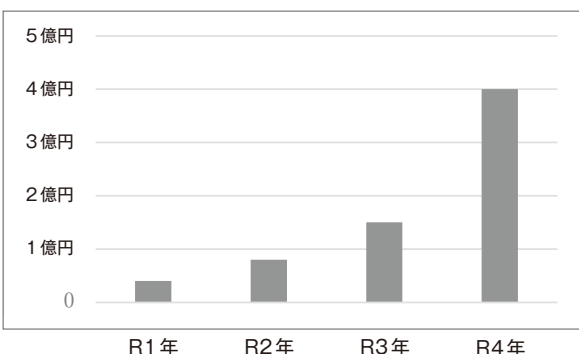
イベントとのコラボなどを盛り込んだ特色ある返礼品は検討できないか。

**A** 今後もこのまま、寄附額を伸ばしていきたい。返礼品についても、寄附者の傾向を捉えた返礼品を充実させることはもちろんのこと、岡垣町の「体験型商品、観光コンテンツ」を取り入れた返礼品の開発も検討していきたい。

**Q** 第6次総合計画を踏まえ、またシーリング枠に配慮した予算と認識するが、一般予算の重点、また編成上の課題についてはどう考えているか。

**A** まずはコロナにしっかりと対応する編成をしている。また、危機管理の体制整備、住環境の整備等、たくさんある。そして協働のまちづくり、財政再建。課題については、イレギュラー対応できる職員の育成が急務だと考えている。

## ふるさと応援寄附金予算額の推移



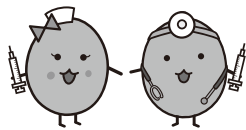
## ■特別会計予算

### 国民健康保険事業特別会計

33億1610万円

保険給付費（医療機関に支払う医療費）が1億8943万円増加しました。

- Q** コロナで受診控えがあった影響が、今後は少なくなると見込んだ予算増額か。
- A** 給付予想の積算によるもの。過去3年の給付額を基に算出した結果、令和2年度予算と同等の額となった。



### 後期高齢者医療特別会計

6億3478万円

後期高齢者医療広域連合への納付金（後期高齢者医療費は広域連合が医療機関に支払う）が2506万円増加しました。

- Q** 10月から、所得額に応じた2割負担が実施される。岡垣町ではどの程度影響があるか。
- A** 町内で把握することはできないが、厚生労働省によれば、全国的には対象者の23%程度となっているので、町にあてはめれば影響があるのは、おおむね1300人と推定される。

## ■公営企業会計予算

### 水道事業会計

収益的収入 6億3103万円  
 収益的支出 5億4888万円  
 当期利益 8215万円

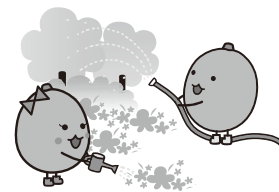
昨年10月に実施した使用料の引き上げの影響などで、収入が4009万円増加しました。支出も1482万円増加しましたが、結果、利益は2527万円の増加となりました。

- Q** 水源開発費1600万円が計上されているが、新たな井戸を掘るのか。
- A** 糠塚の1号井戸が孔内の土砂堆積により、くみ上げができなくなっているため、その近くに掘りかえるものである。

### 下水道事業会計

収益的収入 8億7406万円  
 収益的支出 8億5831万円  
 当期利益 1575万円

昨年10月に使用料の引き上げを行いました。町の繰入金を減らしたため、収入が1374万円減少しました。支出も160万円減少し、利益も1213万円減少しました。



### ロシア連邦によるウクライナ侵攻に断固抗議する決議を採択

2月24日、ロシア連邦がウクライナへ侵攻したことを受け、岡垣町議会でも3月18日に決議を採択しました。決議内容は下記のとおりです。

我が国を含む国際社会が強く自制を求め中、ロシア軍は、本年2月24日、ウクライナに侵攻した。さらにその後、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。これは、国際社会の平和と安全を著しく損なう、断じて容認することができない暴挙である。さらに、プーチン大統領は戦略核兵器の使用についても示唆している。岡垣町では、唯一の戦争被爆国として核兵器廃絶平和の町宣言を行っており、こうした核兵器による威嚇は断じて看過できない。このような力を背景とした、一方的な現状変更への強行は、明らかに国際連合憲章違反であり、断じて容認できない暴挙である。

よって、岡垣町議会は、ロシア連邦による一連のウクライナへの軍事侵攻に断固抗議するとともに、武力行使の即時停止とロシア軍の即時撤収、国際法の遵守を強く求める。以上、決議する。

## ■ その他主な議案

### 新課「おかがき PR 課」を設置する条例

**Q** 新課を設置することで、どのように変わっていくのか。

**A** 町や観光協会、企業などが連携して、町内外への情報発信を強化する。



### ボランティアセンターを地域交流センターからいこいの里へ移設する条例

**Q** いこいの里へ移設する目的は何か。

**A** 社会福祉協議会の組織は様々な団体と繋がっており、人材育成や情報共有などのネットワークを構築できる。移設することによりボランティアの拠点となり情報共有がスムーズになる。

### 情報プラザ人の駅、岡垣サンリーアイ、総合グラウンド、松ケ台グラウンドの使用料金が令和5年4月1日から引き上げられます

岡垣町は平成30年度に行政改革推進計画を策定しました。その計画に基づいて、平成30年10月から受益者負担率が目標に達していない総合グラウンド、松ケ台グラウンド、ふれあいスポーツ広場の使用料の引き上げを行いました。また、令和2年度には情報プラザ人の駅、岡垣サンリーアイの使用料金が引き上げられました。その際に激変緩和として、使用料金を急激に引き上げない措置がとられました。

今回の使用料金改定は、前回の改定の延長線上のもので、受益者負担率が目標に達していない施設が対象となりました。



改善が望まれる松ケ台グラウンド

**Q** 物価が上昇する一方、給与は上がらない。今は使用料金を引き上げる時期ではないのではないか。

**A** 住民生活への影響は考えている。その中で、情勢の変化を考えながら引き上げを考えていきたい。

**Q** 松ケ台グラウンドは駐車場や設備面で総合グラウンドと差がある。使用料金の改定をするのであれば、将来的には改修工事なども考えていくべきではないか。

**A** これまで、簡単な改修については要望には応えてきた。今後も、財政負担を含め、町長部局と相談し検討していきたい。

#### 附帯決議を採択しました

議会側から、次の2点について、十分検討するように要望しました。

1. 町民に対して、料金の見直しに係る説明を十分に行い、理解を求めること。
2. 新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会経済の動向等を踏まえ、料金改定の適用時期について、慎重かつ十分な検討を行い施行すること。

行政サービスすべてにおいて経費がかかっており、大部分は町民の納める税金で賄われている。これらの施設は使用者が一定の割合で負担するという考え方が公平であると言える。また、施設の充実のため使用料の改定はやむを得ないと考える。

#### 主な賛成の意見

町は施設を設置した時の目的に、健康増進や文化の向上、福祉の向上などを掲げているが、使用料金の引き上げを行うことは、その設置目的に逆行する。

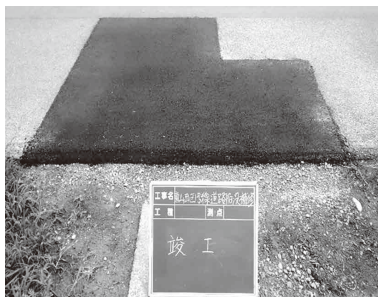
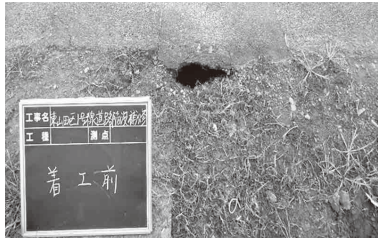
#### 主な反対の意見

受益者負担率が目標に届いていないから料金を引き上げるというやり方は、料金を払えない人は使えないということになる。



# 令和3年度岡垣町一般会計補正予算 6億4895万円増額、総額126億3819万円へ

令和3年度も1年近くを経過し、町の歳入・歳出ともおおむね着地点が見えてきました。そのため今回の補正は、令和3年度の「決算見込み」に当たり、歳入歳出額を調整するものです。



陥没した道路の補修状況

**Q** 3年度の予算調製の特徴として、財政調整基金等を積み増すものとなっている。今後どう見通すか。

**A** 令和3年度の決算は良好。要因として、懸念されていたコロナ禍で、思ったほど国・町とも収入が落ち込まなかったことや、個別の要因では応援寄附金が増加したことなどによる。

**Q** 道路の損傷などによる事故が増えてきている。ライフラインのメンテナンス等にも目を向けてほしい。

**A** 平成24年度から令和元年度まで、基金の積み立て状況や町債の増加など、財務状況は県内でも低いレベルにあったため行政改革を実施してきた。その効果もあり、基金の積み増しができた。今度は、ライフラインのみならず、教育施設など町の資産の老朽化にも対応するため、さらに基金を積み増してそのバランスをとっていきたい。

## 議会の動き

前定例会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議題
1月12日	議会運営	第1回臨時会運営
1月13日	研修会	町村議会議員研修
1月14日	本会議	第1回臨時会（1日間） 本会議・委員会・全員協議会
2月15日	議会運営	第1回定例会運営
3月2日 ～18日	本会議	第1回定例会（17日間） 本会議・一般質問・委員会・ 全員協議会
3月30日 4月4日	議会広報	議会だより編集

次回定例会は  
**6月3日(金)**

開会の予定です  
傍聴または議会中継どうぞ

検索は  
こちらから





## 議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥除・退席退・欠席欠

内 容	採決日	議席番号 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			川地啓輔	神崎宣昭	平山正法	安里雅恵	太田強	木原大輔	横山貴子	市津広海	曾宮良壽	広渡輝男	太田清人	三浦進
岡垣町教育委員会委員の任命について	3/2	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新課「おかがきPR課」を設置し、組織改編を行う条例改正です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域交流センター内にある岡垣町ボランティアセンターをいこいの里に移設する条例改正です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情報プラザの会議室等の使用料を引き上げる条例改正です	3/18	賛成多数可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
町民総合グラウンド、松ヶ台グラウンドの使用料を引き上げる条例改正です	3/18	賛成多数可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
サンリーアイのハミングホール等の使用料を引き上げる条例改正です	3/18	賛成多数可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
個人情報保護関連の法律の改正に伴う、岡垣町個人情報保護条例の改正です	3/18	賛成多数可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長部局の職員と教育委員会所管の学校職員の定数を変更する条例改正です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町の一般職職員の期末手当引き下げ等の条例改正です	3/18	賛成多数可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町の任期付職員の期末手当引き下げ等の条例改正です	3/18	賛成多数可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議員の期末手当を引き下げる条例改正です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長ほか町の特別職の期末手当を引き下げる条例改正です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町所有のため池に設置された、太陽光発電施設の使用料を規定する条例に引用している法律名等の変更に伴う条例改正です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新たな附属機関として、地域共生推進協議会を設置する条例改正です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
家庭的保育事業者等の書面の保存について、電磁的記録（データ等）による対応も認める条例改正です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保育所や幼稚園等の書面の保存について、電磁的記録（データ等）による対応も認める条例改正です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防団員の報酬を見直す条例改正です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保守点検や施設の維持管理等の契約について、複数年度分の契約が可能になる条例の制定です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 岡垣町一般会計補正予算（第9号）	3/3	賛成多数可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
令和3年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	3/3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	3/3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 岡垣町水道事業会計補正予算（第3号）	3/3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 岡垣町下水道事業会計補正予算（第3号）	3/3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度 岡垣町一般会計予算	3/18	賛成多数可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計予算	3/18	賛成多数可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計予算	3/18	賛成多数可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度 岡垣町水道事業会計予算	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度 岡垣町下水道事業会計予算	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遠賀郡4町、北九州市、中間市で設置する北九州都市圏広域行政推進協議会の廃止の協議を行います	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学童保育所の指定管理者を引き続き「NPO法人こども未来おかがき」に決定します	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高倉・野間の一部道路を町道に認定します	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和解及び損害賠償の額の決定に係る専決処分の報告について	3/18	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新課設置等に伴う議会委員会条例の改正です	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ロシア連邦によるウクライナ侵攻に断固抗議する決議	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は地方自治法の規定により議決には加わりません。

内容の文言は一部、議案の正式名称ではなく分かりやすく表記しています。

# 令和4年度 岡垣町一般会計予算

歳入歳出総額 113億4500万円 前年比11.2%増

反対

施設の料金引き上げるな

ひらやま  
**平山 正法** 議員

昨年12月議会で求めた公共施設へのWiFi設置が予算化されたことは評価する。

政府は、今年度までに国民全員がマイナンバーカードを取得するように、市町村に求めている。そのため、マイナンバーカード関連予算は増額された。マイナンバーカードの利用を国民生活のさまざまな分野に拡大することで、個人情報漏洩の懸念はぬぐえない。町は、平成30年度に計画された行政改革推進計画に基づいて、施設の使用料金を引き上げようとしている。施設を必要としてきた住民にとっては、利益に反するものであり、福祉の後退に繋がるため反対する。

賛成

「選択と集中」で予算執行を

おおた  
**太田 清人** 議員

令和3年度は、国際交流協会への補助金適正化を求め補正予算に対して反対をし続けてきたが、4年度予算額には変化があった。額的に納得はしていないが、今後は要綱を含め、補助金の妥当性等検証が必要のため、本理由による反対は撤回する。

予算案全般については、コロナ禍のリバウンドがある程度盛り込まれ、違和感はない。財務体質も、借金の圧縮で改善が進むことは評価できる。コロナ騒動、ウクライナ問題の悪影響、足元の協働のまちづくり崩壊懸念と課題は山積である。仕事の優先順位の再確認で、限られた経営資源を「選択と集中」し、予算執行に生かすことを要望して、賛成する。

積極的な予算化を求める

ひろわたり  
**広渡 輝男** 議員

民生費の子育て支援する経費やコロナ感染症の対策費などがかつてない大幅な増額予算である。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、感染対策と経済対策へ向けて、高齢者支援や子育て支援などの安心の町づくりへ向けた予算は評価する。

今後さらに、町民の生活基盤となる道路等インフラの維持管理に加え、発展性を高めるための土木費や農林水産費などの産業基盤の強化に積極的に取り組むことを求めて賛成する。

戦略的に岡垣町をPR

おおた  
**太田 強** 議員

町長は、「町債を減らし、基金を増やす」という考えで行財政改革を行い、今年度も町債残高は減少の見込みとなっている。今回の目玉は、組織の改正で「おかがきPR課」デジタル推進課」の設置である。

町長は、戦略的に岡垣町をPRし、町の将来の飛躍を期して、自然環境や都市基盤の整備、子育て支援の充実を行い、さらに住みやすい町をつくり、都市部のファミリー層の移住などで人口増を目指す考えを施政方針で述べている。「第6次総合計画」に沿ったまちづくりが一步一歩進められると期待して賛成する。





ウイズコロナの中で

**川地 啓輔** 議員  
かわち けいすけ

おかがき応援寄附金への積立金を4億円計上や町税5・6%増・地方交付税5・7%増の歳入一般財源が確保されて町の努力が伺える。一方、民生費にかかる割合が11・9%増で全体の43・2%と依然として高く、教育費、商工費、農林水産業費に十分な対応ができるか懸念する。

しかしながら、おかがきPR課新設で町の情報発信強化で定住人口増に繋げる取組や、JR海老津駅周辺環境整備、公共交通網見直しなど、今後の町の発展には期待することが多い。ウイズコロナの状況で町民目線での施策を要望して賛成する。

防災対策の強化に期待する

**安里 雅恵** 議員  
あさと まさえ

立地に恵まれた岡垣町も防災対策は急務だと思う。町長の施政方針にあるように、これまででもんだつくんの整備、河川等監視システムの整備など重点的に防災体制の強化を図ってこられた。

令和4年度は、災害対策の専門知識を有する危機管理専門職員が配置されるのとともに、武道館に備蓄倉庫を設置するなど防災体制の強化を進めていくことを評価する。  
また、子どもたちの成長を点ではなく、面で見守ることができるよう取り組みがされていることを評価し賛成する。

## 個人情報保護条例の一部を改正する条例

昨年国会で成立したデジタル関連法に基づき、独立行政法人等の保有する個人情報に国の基準に統合されるため、文言の修正を行うものです。

重大な危惧が生じる

**反対**

**平山 正法** 議員  
ひらやま まさのり

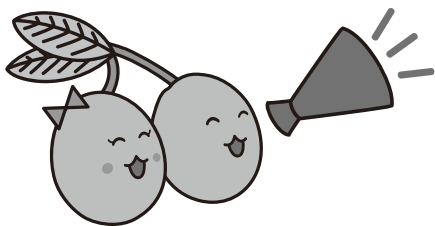
岡垣町にとって影響がないが見過ごすわけにはいかない。来年度には、市町村の個人情報に国の基準に統合されるからである。国が個人情報を統合するという事は、地方自治体に制定する個人情報条例にも縛りをかける。この条例改正は、その足がかりとなるため反対する。

文言改正は妥当

**賛成**

**太田 清人** 議員  
おおた きよと

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律が廃止されることにより、条文に規定する法律名等を改正するものである。これを改正しなければ、なくなった法律に沿った条例となり、そこを来す。そのため、改正が必要と判断し賛成する。



# 町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。



ページ	議員氏名	内容
10	平山 正法	1. 地域猫活動支援事業について ◇2. ジェンダー平等の達成に向けて
11	太田 清人	1. コミュニティ（地域共同体）存続の具体策について（その2） 2. ボランティア団体の現状と課題、支援強化の具体策について
11	広渡 輝男	1. 自然と共生するしなやかなまちづくりに向けて 2. 次世代へつなぐ農業の基盤の充実について 3. 風力発電の現状と我が町の方針について



議会のHPから録画データを視聴できます

◇はこの議会だよりに掲載できなかった質問です

\*\*\*\*\*



ひらやままさのり 議員  
平山 正法

町長

議員

地域猫活動に対しての認識は

一定の成果を上げている

平山 地域猫活動とは、地域住民の合意のもと、住民グループが主体となつて、不妊去勢手術や一定のルールに基づいたエサやり、トイレの管理などを行い、一代限りの命を全うさせ、数年かけて地域から野良猫がいなくなることを目指すという活動です。

町内では、地域猫活動支援事業を開始して約2年になります。これまでの活動団体の取組について、どう認識していますか。

町長 現在4つの団体が町の認定を受け、活動に取り組まれています。現在も猫に関する相談は寄せられています。現在が、これまでと大きく違う点は、認定団体が活動されている地域からの相談はほぼなくなったということです。

地域猫活動は、野良猫への対応として数少ない有効策であると考えており、支援事業の導入とこれに伴う活動団体への支援は、一定の成果をあげていると認識しています。

平山 認定団体が増えない背景は、近隣住民から共感されにくい点です。また、制度の内容が複雑で利用しにくい

ことも一因であると考えます。どのような課題があると認識していますか。

町長 制度の目的や内容の周知が課題であると認識しています。地域との合意形成が負担に感じられると思いが、猫への思いは人それぞれ違うため、活動に際しては近隣住民に趣旨を十分に説明し、理解を得ることが必要であると考えています。

今後も住民の皆さんに制度の目的や内容を十分に理解していただければ、周知啓発に努めていきたいと考えています。



この活動が広がってほしいニャン





おおた きよと 議員  
太田 清人

議員

教育長

協働のパートナーに支援強化を

団体と一緒に考えて考える

**太田** 自治区・校区コミュニティ同様、協働のパートナーである文化協会・体育協会といった社会教育団体等もその所属団体、構成員が減少し、マンパワーの衰退で存続の危機を迎えています。この現状をどうとらえ、どんな支援をしていきますか。

**教育長** 社会教育団体等については、その活動が社会教育の振興と発展に寄与しており、まちづくりに欠かせないものと認識しています。

現在も補助金や様々な情報提供等、支援を行っていますが、団体が今後どのような活動を目指すのか、その意向を聞きながら課題解決に向け、一緒になって考えていくことが教育委員会ができる支援と考えています。

**太田** 従来のやり方を踏襲しては、衰退・崩壊を止めることができないのは、その数字が如実に示し、団体の方々からの悲鳴も聞こえています。

ボランティア活動、その団体も協働のまちづくりでは欠かせないピースです。町も地域福祉計画において高齢化や後継者不足など様々な課題を認識さ

れています。特に若い世代の取り込みは急務ですが、どんな取組を行っていきますか。

**町長** 少子高齢化や人口減少が進む中、協働のまちづくりの継続には、ボランティア団体や住民の協力は欠かせません。今後も引き続きボランティアセンターを中心として、情報発信、人材の育成、団体の活動支援を行い参加しやすい環境づくりに取り組めます。



いこいの里に移設したボランティアセンター



ひろわたり てるお 議員  
広渡 輝男

議員

町長

自然と共生する

しなやかなまちづくり

防災・減災へ向けて

町土強靱化の推進

**広渡** 平成26年12月の一般質問に引き続き質問します。

町が抱える課題を反映した地域強靱化計画を早期に策定し、国の財政支援を受けながら実現化を図ることが最も重要です。「自然と共生するしなやかなまちづくり」を進めるため、岡垣町地域強靱化計画の策定の方針と①国土強靱化へ向けた取組と考え方②ライフラインである上水道・下水道・町道などの充実強化③次世代へつなぐ農業の基盤の充実④響灘沖の風力発電の現状とわが町の方針等について質問します。

**町長** 町においても事前防災・減災と復旧復興に資する施策を総合的かつ計画的に実施し、町土の強靱化を推進するため、第6次総合計画との整合性を取りながら他の計画などの指針となる地域強靱化計画の策定を進めています。

生活に不可欠なライフラインである水道・下水道・町道は経年による老朽化が進み、適切な維持管理や、施設の改修更新が課題であるため、更新計画等を策定し、計画的な改修更新に努め、施設の安全性を確保していきます。

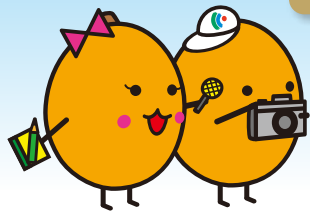
本町の農業は、長い間米の生産調整が続いた休耕農地や農業者の高齢化により耕作が放棄された農地の保全と有効活用が課題です。国の政策の影響を受ける中で、町の独自の事業などを組み合わせ農地の生産基盤の保全に努めます。

国県が進める響灘沖の風力発電計画は準備段階のようですが、今後さらに情報収集に努めるとともに、担当部署については状況に応じて対応していきます。



町強靱化対策として（海岸侵食防止を）





びわりんびわすけの

団体紹介：第9回

# ちいきのちから

ほしかふふくしかい  
～ひとり親家庭の学習塾（岡垣町母子寡婦福祉会）～

この企画は、岡垣町で頑張っている皆さんの活動内容、町や議会への要望などを取材しています。

ひとり親家庭の児童を対象に、大学生などのボランティアを先生に迎え、週1回の「無料学習塾」を開催し、支援を続けています。



勉強は面白くない！  
（学習の様様）

**Q** 具体的な活動内容を教えてください。

**A** 学校教師 OB や福岡教育大生の方々がボランティアで教えてくれています。学習支援コーディネーターの松村淳子さんを中心に、私たち母子寡婦福祉会がそのお手伝いをしています。

**Q** どれくらいの参加がありますか。

**A** 令和4年3月時点で、内浦小を除く4校から小学生が9名、中学生が11名です（町外の2名含む）。先生に登録してもらっているのは、教師 OB が3名、福教大の学生さんが15名程度です。今月で大学を卒業しそれぞれの地元で先生になる学生さんが3人いらっしゃいます！



学生ボランティア(右から)  
うら いおり 浦 伊織さん（鳥根県）  
せと 瀬戸さくらさん（久留米市）  
たていしきの 立石仁野さん（熊本県）  
※（）内は出身地

長い間、どうもありがとう！

無料塾開催日 毎週木曜日 東部公民館  
小学生…午後5時～午後7時  
中学生…午後6時～午後8時

**Q** 「やりがい」と「悩み」や「ご苦労」などをお聞きます。

**A** 悩みや苦労などはありません、喜びばかりです。私たちも子どもの成長で元気をもらっているし、高校に進学し、巣立った子どもたちも感謝の気持ちを忘れずにいてくれる。こんなにうれしいことはありません。

## 学習塾のあゆみ

約9年前、国の母子家庭のための学習支援事業としてスタートし、県を通じ地域の母子会が参加しました。

当初は勉強を教えるのではなく、私設的な学童保育のようなものでした。宿題を見てあげると熱が入り机に向かう。すると勉強する機会が増える。といった形で、現在の学習塾になりました。教室（会議室）の提供や、物品の提供など、町や社会福祉協議会等の協力も受けて運営しています。先生の交通費などは国からの補助がありますが、イベントなどの費用は母子寡婦福祉会が廃品回収などで賄っています。



まつむら 松村コーディネーター  
やまだちきよ 山田千佐代さん  
やまだまりこ 山田真理子さん  
よこやまたかこ 横山貴子さん  
ひらたれいこ 平田玲子会長

学習塾の主な運営メンバー

**Q** 町や議会に望むことは？

**A** 町のみならず社協など多くの方々にお世話になっています。この取組が長く続くように、継続的にご支援いただければうれしいです。

**Q** 住民の方へひとこと。

**A** ひとり親で、興味のある方、色々お困りの方は、ぜひこの輪に参加してください。何事も一人で抱え込まないように！会員になると、本塾への参加、独自の奨学金制度などの特典もあります。

お問い合わせ・加入希望者は、岡垣町母子寡婦福祉会／松村コーディネーター

TEL 080-6464-7925

